本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

この度は弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

P

USER'S GUIDE
1672＊JA

CASIO

安全上のご注意

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

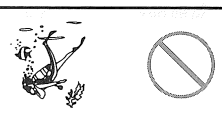
△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて
本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

かぶれについて
時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー　②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等　③体調不良等
●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて
ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください
本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控えを作ってください
記録させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



カシオ計算機株式会社

MA9803-010602A

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると、故障の原因になります。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えを取っておいてください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

「サビ」
● ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して衣類の袖を汚すことがあります。

「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。

「かぶれ」
● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合にはそのバンドの着用を中止し皮膚科の専門医にご相談ください。
● 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネルの交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

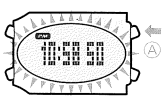
表示照明用 ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる ～手動発光～

Ⓐボタンを押します

→Ⓐボタンを押すと約２秒間文字板が発光します。



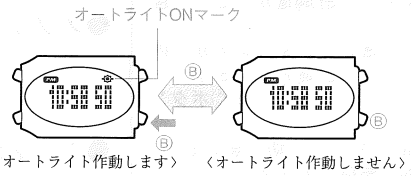
※オートライトのON/OFFにかかわらず、Ⓐボタンを押すと発光します。

■時計を傾けて発光させる ～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で、時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

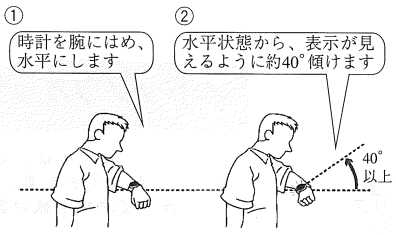
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約２秒間発光します。

準備　時刻モードのときⒷボタンを１～２秒間押し続けて、オートライトON（ 点灯）にします。

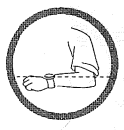


※オートライトONのとき、Ⓑボタンを１～２秒間押し続けるとオートライトOFF（ 不点灯）に戻ります。
※オートライトON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

●文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。
※文字板の左右（３時－９時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL発光についてのご注意〉

●直射日光下では発光が見えにくくなります。
●発光中にⒶボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

●オートライトが作動するのは、“ ”を点灯させてから約２時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“ ”が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓑボタンを１～２秒間押して“ ”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（「製品仕様」参照）

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。

●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約２秒間のみとなります。

●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

■製品仕様

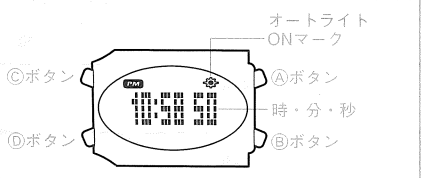
水晶発振周波数	32,768Hz
精度	平均月差±15秒以内
基本機能	時刻表示＝時・分・秒
（ワールドタイム）	カレンダー表示＝月・日・曜日 40都市、サマータイム設定機能
テレメモ	名前＝8文字、電話番号＝12桁 メモリー件数＝最大30件 自動ソート、残りメモリー数表示
アラーム	セット単位＝分、電子音＝20秒間 時報　毎正時に2回電子音で報知
ストップウオッチ	計測単位＝1/100秒 計測範囲＝59分59秒99（60分計） 通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、1・2着同時計測
その他	自動復帰機能、12/24時間制表示切替、モニターアラーム、ELバックライト、オートEL
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子 C-MOS-LSI
使用電池	CR-2016（電池別途販売） ※電池はカシオ指定のものをご使用ください。
電池寿命	約２年 電子音20秒間／日、ライト４秒間（ボタン押し１回：２秒＋オートライト１回：２秒）／日使用した場合 ※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。 ・１日あたり、ライト８秒間（ボタン押し２回＋オートライト２回）使用のとき…約1.5年 ・１日あたり、ライト20秒間（ボタン押し５回＋オートライト５回）使用のとき…約１年

操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります

※表示は機種により異なる場合があります。

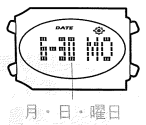
時刻モード



※Ⓓボタンを押してストップウオッチモードから戻ると、時刻モードで表示している時刻の都市コードを一瞬表示します。

★カレンダー切替え

Ⓒボタンを押すとカレンダーを約1秒間表示します。



★ワールドタイム機能

あらかじめ40都市が登録されており、各都市の時刻を簡単に表示させることもできます。

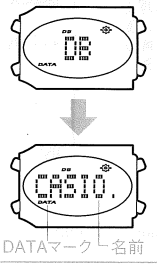
※詳しくは「ワールドタイムの使い方」をご覧ください。

★オートライトON／OFF切替え

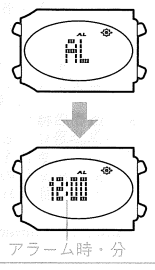
Ⓑボタンを１～２秒間押し続けるごとにオートライトON（ 点灯）／OFFが切替わります。

※詳しくは「表示照明用ELバックライトについて」をご覧ください。

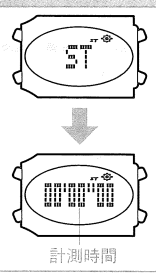
テレメモモード



アラームモード



ストップウオッチモード



※テレメモモードで1～2分間そのままにしておくと、自動的に時刻モードに戻ります。

■デジタル表示について

表示内容が自動的に切り替わる動作になっているときは、Ⓓボタンを約２～３秒間（確認音が鳴るまで）押し続け、動作を解除（時刻モードになります）してからお使いください。

ワールドタイムの使い方

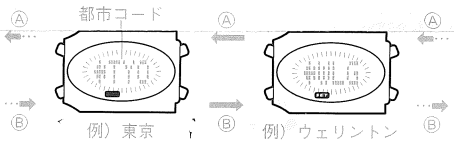
以下の操作は時刻モードで行ないます。

本機の基本時刻にはあらかじめ40都市が登録されており、ワールドタイムとして使用することができます。

●都市コードを選ぶには

1 Ⓒボタンを1～2秒間押し続けます。
→「都市コード」が点滅します。

2 ⒷボタンまたはⒶボタンを押します。
→Ⓑボタン＝都市コードが1つ進む
Ⓐボタン＝都市コードが1つ戻る
※押し続けると早送りできます。
※表示される都市については、下記の「都市コード一覧」をご覧ください。



3 Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まります。
※選ばれた都市の時刻を、時刻モードで表示します。

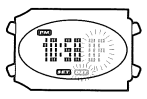
★サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

●サマータイムのセット

1 Ⓒボタンを1～2秒間押し続け、「都市コード」が点滅したら、ⒷまたはⒶボタンを押してサマータイムセットしたい都市を表示させます。

2 Ⓓボタンを1回押します。
→ONまたはOFFが点滅します。



3 Ⓑボタンを押します。
→ONまたはOFFが切り替わります。

4 Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まります。

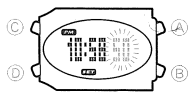
●時刻・カレンダーについて

ワールドタイムは、セットされている都市の時差にしたがい連動しています。
1度時刻・カレンダーをセットすれば、都市コードを変更しても時刻・カレンダーを修正する必要はありません。

●時刻・カレンダーのセット

1 Ⓒボタンを1～2秒間押し続け、「都市コード」が点滅したら、ⒷまたはⒶボタンを押して時刻セットしたい都市を表示させます。

2 Ⓓボタンを2回押します。
→「秒」が点滅します。



3 時報に合わせてⒷボタンを押します。
→秒が00秒になります。
※00～29秒のとき＝切り捨てられる
30～59秒のとき＝１分繰り上がる

4 以後、Ⓓボタンを押すごとに「秒→時→分→12/24時間制切替え→年→月→日→…」の順でセット箇所が点滅しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

5 ⒷボタンまたはⒶボタンを押します。
→Ⓑボタン＝1つ進む
Ⓐボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。
※12/24時間制切替えのときは、Ⓑボタンを押して切り替えます。

6 セットが終わったら、Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まります。

※「時」のセットのとき午前(AM)／午後(PM)、24時間制、サマータイム(DST)にご注意ください。
※「年」は1995～2039年までセットできます。
※曜日は年月日をセットすると、自動的にセットされます。
※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。
※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

●都市コード一覧

コード	時差	都市名	国　名	コード	時差	都市名	国　名
ADL	+9.5	アデレード	オーストラリア	LON	+0.0	ロンドン	イギリス
ANC	-9.0	アンカレジ	アメリカ合衆国	MEX	-6.0	メキシコシティ	メキシコ
BER	+1.0	ベルリン	ドイツ	MIA	-5.0	マイアミ	アメリカ合衆国
BKK	+7.0	バンコク	タイ	MIL	+1.0	ミラノ	イタリア
CAI	+2.0	カイロ	エジプト	MLE	+5.0	マーレ	モルディブ
CCS	-4.0	カラカス	ベネズエラ	NOU	+11.0	ヌーメア	ニューカレドニア(仏領)
CHI	-6.0	シカゴ	アメリカ合衆国	NYC	-5.0	ニューヨーク	アメリカ合衆国
DAC	+6.0	ダッカ	バングラデシュ	PAR	+1.0	パリ	フランス
DEL	+5.5	デリー	インド	PPG	-11.0	パゴパゴ	アメリカ領サモア
DEN	-7.0	デンバー	アメリカ合衆国	RGN	+6.5	ヤンゴン	ミャンマー
DXB	+4.0	ドバイ	アラブ首長国連邦	RIO	-3.0	リオデジャネイロ	ブラジル
GUM	+10.0	グアム	グアム島（米領）	ROM	+1.0	ローマ	イタリア
HKG	+8.0	ホンコン（香港）	中華人民共和国	SEL	+9.0	ソウル	大韓民国
HNL	-10.0	ホノルル	アメリカ合衆国	SFO	-8.0	サンフランシスコ	アメリカ合衆国
IST	+2.0	イスタンブール	トルコ	SIN	+8.0	シンガポール	シンガポール
JED	+3.0	ジッダ	サウジアラビア	SYD	+10.0	シドニー	オーストラリア
JRS	+2.0	エルサレム	イスラエル	THR	+3.5	テヘラン	イラン
KBL	+4.5	カブール	アフガニスタン	TYO	+9.0	東京	日本
KHI	+5.0	カラチ	パキスタン	WLG	+12.0	ウェリントン	ニュージーランド
LAX	-8.0	ロサンゼルス	アメリカ合衆国	YVR	-8.0	バンクーバー	カナダ

※この表は1997年12月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

テレメモの使い方

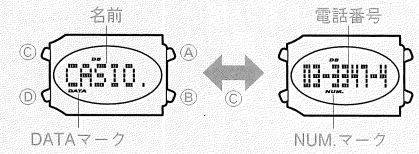
以下の操作はⒹボタンを１回押してテレメモモードで行ないます。

テレメモは1件につき名前8文字、電話番号12桁を最大30件までメモリーできます。
テレメモモードに切り替えると、前回見たデータを表示します。

●データを探す

1 テレメモモードでⒷボタンを押すごとに、名前順（アルファベット順）に表示されます。
※押し続けると早送りができます。

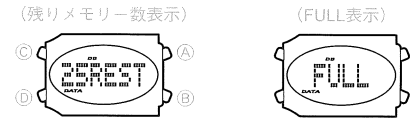
2 名前を探したら、Ⓒボタンを押すと電話番号を表示します。



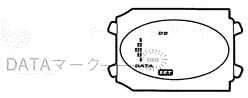
※名前と電話番号は、右から左に流れるスクロール表示です。

●データを入力（修正）する

1 Ⓑボタンを押して、残りメモリー数または修正したいデータを表示させます。
※データがすでに30件メモリーされているときは、残りメモリー数の代わりに“FULL”と表示されますので、不要なデータをクリアーしてください。



2 Ⓒボタンを1～2秒間押し続けます。
→名前部の1桁目が点滅します。

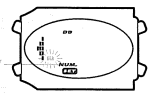


3 ⒷボタンまたはⒶボタンを押します。
→Ⓑボタン＝1つ進む
Ⓐボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。

4 Ⓓボタンを押します。
→点滅箇所が右に移動します。
※Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が名前1桁目～8桁目～電話番号1桁目～12桁目と移動します。

操作３と４を繰り返し、名前を入力します。
※名前部の最初と最後にエンドマーク（◀）がつきます。
入力文字＝（空白）、A～Z、0～9、
.（ピリオド）、－（ハイフン）

5 名前の入力が終わったら、Ⓓボタンを押して、電話番号部の1桁目を点滅させます。



6 ⒷボタンまたはⒶボタンを押します。
→Ⓑボタン＝1つ進む
Ⓐボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。

7 Ⓓボタンを押します。
→点滅箇所が右に移動します。

操作６と７を繰り返し、電話番号を入力します。
※電話番号部の最初と最後にエンドマーク（◀）がつきます。
入力文字＝（空白）、0～9、－（ハイフン）

8 入力が終わったら、Ⓒボタンを押します。
→並び替え（SORT）表示となり、入力終了です。

※続けて入力するときは１～８を繰り返します。
※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。
※末尾の空白はセット状態以外では名前部は“.”（ピリオド）、電話番号部は“_”で表示されます。

●データのクリアー

1 Ⓑボタンを押してクリアーしたいデータを表示させます。

2 Ⓒボタンを1～2秒間押し続けて名前部1桁目を点滅させます。

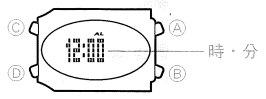
3 ⒶボタンとⒷボタンを一緒に押すと、表示されているデータがクリアーされます。
※クリアー後は新たなデータを入力できます。

4 Ⓒボタンを押して終了です。

アラーム・時報の使い方

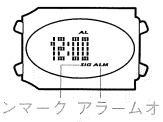
以下の操作はⒹボタンを２回押してアラームモードで行ないます。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。
※アラーム・時報は時刻モードで選ばれている時刻に合わせて鳴ります。



●アラーム・時報のオン／オフ

Ⓑボタンを押すごとにマークが点灯／不点灯を繰り返します。
それぞれのマークが点灯しているときがオンで、アラーム・時報が鳴ります。



●鳴っている電子音を止めるには

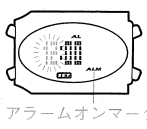
どのモードでも、いずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム

Ⓑボタンを押し続けると、押している間アラーム音が鳴ります。

●アラーム時刻のセット

1 Ⓒボタンを1～2秒間押し続けます。
→「時」が点滅します。
※アラームオンマークが点灯し、アラームが自動的にオンとなります。



2 Ⓓボタンを押すと、点滅箇所（セット箇所）が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

3 ⒷボタンまたはⒶボタンを押します。
→Ⓑボタン＝1つ進む
Ⓐボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。

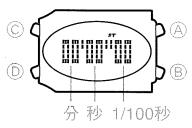
4 「時」と「分」を合わせ終わったら、Ⓒボタンを押します。
→点滅が止まります。

※「時」のセットのとき午前(AM)／午後(PM)、24時間制、サマータイム(DST)にご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。
※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

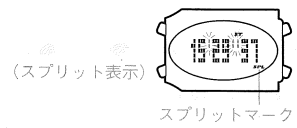
ストップウオッチの使い方

以下の操作はⒹボタンを３回押してストップウオッチモードで行ないます。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測時間を超えると、自動的に0に戻って計測を続けます。



★計測終了後Ⓒボタンを押すと、計測値が“０”に戻ります。（リセット）
★計測中にⒸボタンを押すと表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。
スプリット計測を解除するには、もう一度Ⓒボタンを押します。
スプリット表示のまま他のモードに切り替えると、スプリット表示は自動的に解除されます。



●通常計測

Ⓑ → Ⓑ → Ⓒ
スタート　ストップ　リセット

〈積算計測〉

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押してスタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

Ⓑ → Ⓒ → Ⓒ → Ⓑ → Ⓒ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

●１・２着同時計測

Ⓑ → Ⓒ → Ⓑ → Ⓒ → Ⓒ
スタート　1着ゴール　2着ゴール　2着タイム表示　リセット
（1着タイム表示）